

承認番号	
研究課題名	アジア人中腸NETの臨床病理学的特性に関する多施設共同研究
研究の意義・目的	消化管NET(neuroendocrine tumor:神経内分泌腫瘍)において、本邦で特に頻度の低い中腸NETの生物学的特徴は未だ全く解析されていない。またmTOR 阻害剤(Everolimus)に対する感受性も部位や人種によって異なることが示されているが、その原因についても明確にされていない。そこで頻度が極めて低い中腸NET病理組織・臨床情報を収集し、特に後腸NETとの分子生物学的な相違、ドイツで治療された非アジア人患者の中腸NETとの相違を明らかにする。またNET培養細胞を用いて治療感受性が異なる原因を検索し、治療の個別化につながる臨床病理学的因子を特定することを目的とする。ドイツで治療された非アジア人患者中腸および後腸NET症例についても、本邦の中腸、後腸NETと同様に、ホルモン産生状況、ソマトスタチン受容体、mTOR伝達経路関連蛋白(p-mTOR、p-S6K, p-4EBP1, p-eIF4E)の発現状況について検索し、人種間における比較検討を行う。ドイツ人検体はミュンヘン工科大学の検体を使用し、ドイツ人と日本人の比較はドイツミュンヘン工科大学にて実施するため、本邦で採取された資料、および情報についても提供を行う。
研究期間	承認後～2022年3月
研究対象者の範囲	平成16(2004)年1月1日～平成28(2016)年12月31日に大阪公立大学医学部附属病院の消化器外科で、消化管NET疾患の治療のため受診された入院患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	手術摘出標本スライド、検査データ、診療記録、予後調査等
利用者の範囲	共同研究機関に試料・情報を提供する 他施設が共同研究の代表施設である 研究成果を公表する
研究機関の情報	藤島 史喜 東北大学医学系研究科病理診断学分野 022-717-7440 ffujishima@patholo2.med.tohoku.ac.jp
代表施設のURL	(臨床研究に関する情報公開ホームページ http://www.med.tohoku.ac.jp/public/documents/2016.html)
研究成果を公表する方法	研究対象者の個人情報保護に措置を講じた上で、遅滞なく国内外の学会（病理学会、内分泌学会など）にて報告し、最終的には英文の論文を作成し、国際的な学術誌に投稿する。その他、病理部/病理診断学で管理するホームページで研究内容を公表する事も考えている。結果の最終公表を行った場合、遅滞なく研究機関の長に報告する。
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	東北大学医学系研究科病理診断学分野 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 藤島史喜
試料・情報を公表する方法	研究結果については、学会発表、論文により公表する
試料・情報の提供方法	匿名化されているもの（特定の個人を識別できないもの）を提供する
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	がん集学的治療研究財団宛てに手紙、メール、電話もしくはファックスなどにて連絡されるか、大阪公立大学医学部経営企画課研究企画担当（電話番号：06-6645-3457）まで電話にて連絡ください。